

みんなの力を結集！

国体ボランティアのかたがたも
今から気合い十分！ 大会の成功
を支える大きな力です。

スグッチといっしょにがんばるぞ！



地元への恩返しです 帝国石油秋田鉱業所のみなさん(八橋)

昭和36年の国体、最近では平成16年の新潟県中越地震でボランティア活動をした帝国石油のみなさん。会社ぐるみで運営協力員に申し込みました。所長の大西清文さんは「地域貢献はもちろん、みんなボランティア活動から何かを得てきてほしい」と社員たちの成長にも期待しています。



表彰状にも「真心」こめて

平元ケオさん(新屋)

現在八十二歳ですが、何か貢献できないかと思ひ、表彰状の筆耕のボランティアに思い切つて応募しました。美しい字を書くためには、心も体も元気でないとけません。国体本番まで、健康づくりにも励みますよ！

いろんな人に会いたいナ

小林千紗さん(右) (聖霊高校1年)
加藤愛華さん(聖霊高校1年)



運営協力員として、秋田駅の案内係をやりたいです。駅は秋田の玄関口。県外のかたが最初に出会う秋田市民は私たちになるので、秋田に良い印象を持つてもらえるような笑顔でがんばります！
選手やボランティアのかたなど、学校とは違う人たちとの出会いも楽しみです。

チームワークに自信あり！

雄和協力員会のみなさん

大会本番に向け、気合い十分の雄和協力員会のみなさん。会長の鈴木善孝さん(写真右)は、「雄和をあげて応援します。地域のまとまりは、昭和59年の全国高校総体(雄和地域で民泊実施)で実証済み。あの時のチームワークで国体を盛り上げますよ。訪れたかたがたに秋田の良さ、雄和の良さをしっかり伝えたいですね」と、力強く話してくれました。



一人一役！ 国体の盛り上げは、おまかせあれ！

おもてなしの準備は万端！

わか杉国体には、選手団など約12,000人が全国から秋田市に訪れます。選手の宿泊ひとつをとっても、数多くの施設とたくさんの人々に関わることとなります。選手のおもてなしをするみなさんの意気込みは...

輸送



中央交通秋田営業所の佐藤晃運転士(右)、石井由彦運転士(中)、進藤俊之さん

まずは安全第一！

秋田中央交通(株)

安全に選手たちを送迎することが一番！選手たちが気持ちよく試合できるよう、元気なあいさつと笑顔をもっとに、ハンドルを握ります！



「岩見のお湯は疲れがとれる、いいお湯ですよ」

宿泊

アットホームな雰囲気

河辺岩見温泉

家族的なぬくもりを大事にお客様に接しています。豊かな自然と湯冷めしない自慢の温泉で、選手たちがリラックスしてくれたらいいですね。



食事

せきやの(左上から時計回りに)保坂淳子さん、関谷幹子さん、高橋静子さん、佐々木智美さん、佐藤清敏さん

秋田の味を伝えたい

仕出しのせきや

県外から訪れるたくさんの人に「秋田で食べたお弁当おいしかった～」と言ってもらえるよう、家庭的でボリューム満点のお弁当を提供します！

秋田県選手団のユニフォームは、胸に輝く金色の「なまはげ」がトレードマーク。鋭いまなざしで対戦相手を圧倒！？

胸に輝く

なまはげ



民泊家庭の料理を再現

まごころ国体

1人前
かれのバター焼
野菜のホワイトソースかけ
かれい70gはかたくり粉3gをまぶし、フライパンにバターをしいて蒸し焼きにする。
ばれいしょ50g、にんじん10gは塩ゆでにし、乱切りとする。
なべにバターをとかし、小麦粉10gを色付かぬようにいため、牛乳30gを加えてのばし塩こしょうで味をととのえる。
皿にとを盛りをかけてきざみパセリを振りかける。
(まごころ国体の標準献立表から)



県外選手絶賛！